

東京都環境局 東京都環境局自然環境部が運営する 特定外来生物に関する学習サイト

文字サイズ

小 中



► HOME
► サイトマップ

Google

外来生物について

こども学習サイト

生物多様性

よくある質問

リンク集

トップページ > 外来生物について > ヒアリ

危険な外来生物

16種を一括ダウンロード 🦜

このページをダウンロード 🌂

Iヒアリ

【国内における確認状況】

- ・東京都内で見つかったことはない。
- ・平成29年5月26日、国内で初めて兵庫県で発見された。

【生態:生息地など】

- ・公園や農耕地などやや開けた場所に営巣する。
- ・食性は雑食性で、節足動物、トカゲなどの小型脊椎動物、甘露、樹液、花蜜、種子など。
- ・極めて攻撃的で、節足動物のほか爬虫類、小型哺乳類をも集団で攻撃し、捕食することで知 られる。

【形態:大きさや特徴】

- ・体長2~6mm。
- ・主に赤茶色。
- ・体色は赤褐色、腹部が暗色。

【原産地】

・原産地は南アメリカ。

※画像はクリックで拡大します。



"ヒアリの働きアリ" By 環境省



"ヒアリ" By 環境省

健康被害の具体例

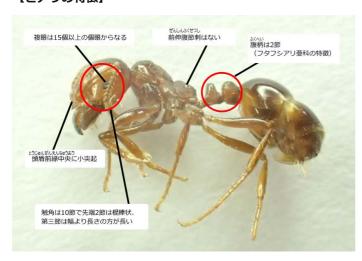
- ・刺されると、アルカロイド系の毒(ソレノプシン)によって非常に激しい痛みを覚え、水疱状状のはほうじょうに腫れる。
- ・さらに毒に対してアレルギー反応を引き起こす例が、北米だけでも年間で1500件(本種を含めた"fire ant"全体の件数)近く起こり、100人以上 の死者が出ている。
- ・ソレノプシンは、呼吸困難や意識障害等を起こす場合がある。

被害を受けた場合の対処法

医療機関を受診

特徴・間違いやすい類似種との識別点

【ヒアリの特徴】



【ヒアリの巣】



(寺山守氏提供)

胸部の体色が赤褐色、腹部が暗色で艶がある。触覚節数は10節で第3節は長い。トフシアリ(日本産種はSolenopsis japonicaはサイズが小さく識別可)、ヒメアリ属(兵アリの有無により識別可)。 在来種で本種のような土で大きな塚を作る種はいない。

【類似種】



在来類似種例 アズマオオズアリ

駆除方法

- ・殺虫剤(液剤)を散布する。
- 熱湯をかける。
- ・ベイト(毒餌)剤を使用する。

危険な外来生物(東京都内で見つかったことがあるもの) 4種類







ハイイロゴケグモ



カミツキガメ



アカカミアリ (硫黄島のみ)

危険な外来生物(東京都内で見つかったことがないもの) 12種類



カナダガン



タイワンハブ



キョクトウサソリの全種



ジョウゴグモ科 アトラクス属の全種



ジョウゴグモ科 ハドロニュケ属の全種



ドクイトグモ



イエイトグモ



ブラジルイトグモ



クロゴケグモ



ジュウサンボシゴケグモ



ヒアリ



コカミアリ

(

外来生物について へ戻る

| このサイトについて | 個人情報保護方針 | サイトポリシー | リンク集 | サイトマップ | お問い合わせ |

【所在地】 〒163-8001

東京都新宿区西新宿2丁目8番1号 東京都庁第二本庁舎22階東京都環境局 自然環境部計画課

TEL: 03-5388-3548 FAX: 03-5388-1379





このページの内容の一部は、Flicker等が提供しているコンテンツを利用しており、クリエイティブ・コモンズの表示ライセンスに記載の条件に従って使用しています。 本サイト上の文書や画像等に関する諸権利は東京都に帰属します。本サイト上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。 Copyright©2016 Bureau of Environment.TMG. All Rights Reserved.